PRINCE TOMOHITO MEMORIAL WORLD GRAND PRIX

Original Photo : INOUE Rokuro

東日本大震災復興支援

第10回 寛仁親王記念ワールドグランプリ国際自転車競技大会ロードレースラウンド

2022年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ最終戦

第17回 明治神宮外苑大学クリテリウム

17th MEIJI-JINGU OUTER GARDEN UNIVERSITY CRITERIUM

明治神宮外苑 聖徳記念絵画館前 11:00開会式 15:10表彰式

2023年2月26日(日)

主　催 **日本学生自転車競技連盟**
JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION

明治神宮外苑・聖徳記念絵画館前 外苑 CRITERIUM CYCLE ROAD RACE

ウェブサイト
大会特設 https://princetomohito-memorial-wgp.com/
外苑クリテ過去大会アーカイブ https://gaiencriterium.tokyo/
日本学生自転車競技連盟 https://jicf.info/

インターネットライブ動画
https://www.youtube.com/@jicf7330

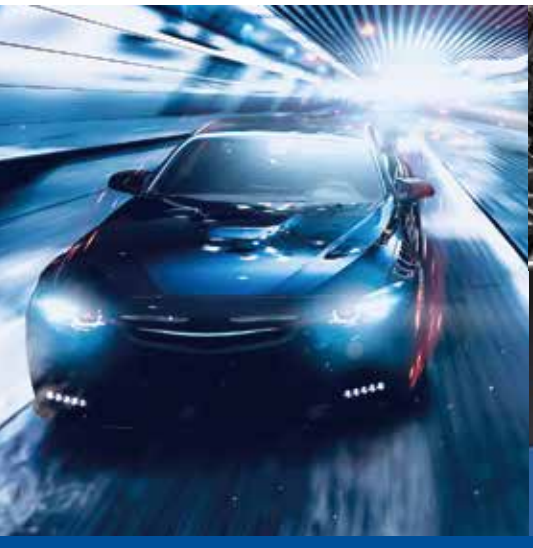
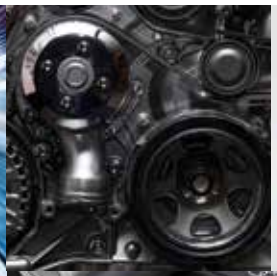
競技速報 Twitter
https://twitter.com/jicf_jimukyoku

NICHINAO　IRC TIRE Inoue Rubber Co.,Ltd.　Innovation & Action INOAC　DE ROSA
CYCLOCHANNEL シクロチャンネル cycloch.net　CYCLES-YOKOO　PEARL iZUMi　Kabuto　ユニバーサル・フィナンシャル UNIVERSAL FINANCIAL

その快適、
実は「イノアック製」です。

Innovation & Action

INOAC

株式会社 イノアック コーポレーション
本社　〒450-0003　愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目13-4
［支店］東京・名古屋・大阪・九州　［営業所］札幌・東北・浜松・広島　［海外拠点］北米・中国・東南アジア　他

イノアック　検索

iRC TIREとイノアックはグループ企業です。

PRINCE TOMOHITO MEMORIAL
WORLD GRAND PRIX

「寛仁親王記念ワールドグランプリ」の開催にあたって

大会顧問　小山田　　斉

寛仁親王殿下の活動の中心、４本の柱は、
「障害者福祉」「スポーツ振興」「青少年育成」「国際親善」でした。
殿下の「障害者福祉活動」のスタートは 1970 年代初め、障害者が自立をめざして本格的な運動を始めた時期でもあります。東京「身障友の会」活動に端を発した障害者の自立運動は「愛知県重度障害者の生活をよくする会」そして「仙台ありのまま舎」などにも広がり活発化しました。この、ユニークな福祉活動を行う「身障友の会」との出会いがきっかけで殿下の「身障友の会応援団」が誕生します。寛仁親王殿下は以後様々な障害者福祉活動にお取り組みになりますが、障害者スポーツの先駆けとなる「障害者スキーの普及」もそのひとつでした。殿下が制作なされた障害者スキードキュメント映画「JOY　TOGETHER」は世界の注目を集め 1978 年「第１回国際赤十字映画祭グランプリ」をはじめ国内外の賞を受賞しています。
「スポーツ振興」活動としては 1990 年、名誉総裁をつとめられた「世界選手権自転車競技日本大会」以降「自転車競技振興」にも大きな指導力を発揮されてきました。

「寛仁親王殿下」プロフィール

寛仁親王（ともひとしんのう）
1946 年神奈川県生まれ。三笠宮崇仁親王の第一男子。1968 年学習院大学卒業後、オックスフォード大学へ留学。活動の中心は障害者福祉・スポーツ振興・青少年育成・国際親善の４本柱。スポーツマンとしても知られ、日本職業スキー教師協会総裁として障害者スキー指導では先駆者的存在。皇族らしからぬ飾らぬお人柄は庶民的な人気を得「ヒゲの殿下」の愛称で親しまれた。
1990 年世界選手権自転車競技日本大会で名誉総裁､以降自転車競技選手強化システムの構築などに主導的な力を発揮｡1991 年､下部食道癌の切除手術を受けて以降も様々な活動を精力的にお続けになる。1995 年、自ら総裁を務める、仙台ありのまま舎の常務理事で筋ジストロフィー患者・山田富也、一級障害者手帳を持つ作家澤地久枝と共著で「いのちの時間」を出版。
1991 年以降、16 回の手術という想像を絶する困難のなか信念とする活動を精力的に続け、2012 年６月６日薨去。
著書に「皇族のひとりごと」「思いでの昭和天皇」「今ベールを脱ぐジェントルマンの極意」など。

「寛仁親王殿下と自転車競技」

寛仁親王殿下は「障害者福祉」「スポーツ振興」「青少年育成」「国際親善」の４本の柱を活動の中心据えてこられました。「ヒゲの殿下」の皇族らしからぬ、庶民的で飾らぬ言動は皇室をかつて無い程に「開かれた存在」にしました。
様々なスポーツと親しむなか、特にスキーに関しては日本職業スキー教師協会総裁をつとめ、障害者のスキー指導に於いては先駆者的な存在で知られます。
自転車競技に関しては「1990 世界選手権自転車競技大会」名誉総裁をつとめて以来「選手強化／底辺拡大」に関する事業等で大きな指導力を発揮なさいました。なかでも自らの名を下賜なされた「寛仁親王牌世界選手権記念トーナメント」(1992 年～)では「世界のスポーツ、ケイリン！」をキャッチフレーズに競輪の国際化に尽力、2000 年シドニーからのオリンピック競技「KEIRIN」誕生にお力添えをなさいました。

＊大会名「寛仁親王記念ワールドグランプリ」は、三笠宮彬子女王殿下の 御承諾を戴いた名称です

寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会の開催経緯

- **1990 年**（平成２年）
  寛仁親王殿下名誉総裁のもと前橋・宇都宮で世界選手権自転車競技日本大会（トラック・ロード）開催
- **1992 年 ～**（平成４年 ～）
  「寛仁親王牌世界選手権記念トーナメント」開催､KEIRIN の国際化･オリンピック種目採用に尽力される
- **2000 年**（平成 12 年）
  シドニー五輪でケイリンが正式種目、殿下主導の 2012 年を目指すオリンピック攻略プロジェクト始動
- **2009 年**（平成 21 年）
  世界選手権開催 20 周年を記念した「寛仁親王牌ワールドグランプリ」が企画される（未実施）
- **2012 年**（平成 24 年）６月６日
  寛仁親王殿下ご逝去
- **2014 年**（平成 26 年）７月４～７日　　於：伊豆ベロドローム
  第１回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
  第 55 回全日本学生選手権自転車競技大会トラックと併催、UCI 国際トラックカレンダーにクラス３大会として登録。日本国内初の UCI パラサイクリング・カレンダー登録大会（パラサイクリング・クラス２）となる。
  主催：NPO 法人 CSS シクロ　　競技主管：日本学生自転車競技連盟
  後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2016 年**（平成 28 年）２月６～７日　　於：伊豆ベロドローム
  第２回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
  全日本学生トラックレースシリーズ最終戦と併催、UCI 国際トラックカレンダーにクラス２大会として登録。
  主催・競技主管：日本学生自転車競技連盟
- **2016 年**（平成 28 年）７月８～10 日　　於：伊豆ベロドローム
  第３回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
  主催・競技主管：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2017 年**（平成 29 年）７月７～９日　　於：伊豆ベロドローム
  第４回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
  主催・競技主管：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2018 年**（平成 30 年）７月６～８日　　於：伊豆ベロドローム
  第５回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
  主催・競技主管：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2019 年**（令和元年）７月 13 ～14 日　　於：松本美鈴湖自転車競技場
  第６回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
  第３回全日本学生選手権オムニアム大会と併催 /UCI クラス２トラック国際大会
  主催・競技主管：日本学生自転車競技連盟
  後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2020 年**（令和２年）２月 23 日　　於：明治神宮外苑
  第７回寛仁親王記念ワールドグランプリ・ロードレースラウンド開催
  第 14 回明治神宮外苑大学クリテリウムと併催
  主催・競技主管：日本学生自転車競技連盟
  後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2021 年**（令和３年）３月７日　　於：明治神宮外苑
  第８回寛仁親王記念ワールドグランプリ・ロードレースラウンド開催
  第 15 回明治神宮外苑大学クリテリウム兼第 22 回全日本学生選手権クリテリウム大会と併催
  主催・競技主管：日本学生自転車競技連盟
  後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2021 年**（令和３年）７月３～４日　　於：松本美鈴湖自転車競技場
  第８回寛仁親王記念ワールドグランプリ・トラックレースラウンド開催
  The 7th JICF International Track Cup 2021 兼 第５回全日本学生選手権オムニアム大会と併催
  主催・競技主管：日本学生自転車競技連盟
  後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2022 年**（令和４年）２月 27 日　　於：明治神宮外苑
  第９回寛仁親王記念ワールドグランプリ・ロードレースラウンド開催
  第 16 回明治神宮外苑大学クリテリウムと併催
  主催・競技主管：日本学生自転車競技連盟
  後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- **2022 年**（令和４年）８月６～７日　　於：TIPSTAR DOME CHIBA
  第９回寛仁親王記念ワールドグランプリ・トラックレースラウンド開催
  The 8th JICF International Track Cup 2022 兼 第６回全日本学生選手権オムニアム大会と併催
  主催・競技主管：日本学生自転車競技連盟
  後援：公益財団法人日本自転車競技連盟

第17回明治神宮外苑大学クリテリウムに寄せて

Compliment to Meiji-Jingu Outer Garden University Criterium

大会会長・日本学生自転車競技連盟会長
村 岡　　功
President of the Japan Intercollegiate Cycling Federation
Isao MURAOKA

本日、ここに第１７回明治神宮外苑大学クリテリウムを開催できますことに感謝申し上げます。

さて、本連盟の２０２２年は悲しみと苦渋に満ちた年となりました。それは２０２２年９月４日に鹿児島県内において開催した「2022年文部科学大臣杯 第77回全日本大学対抗選手権自転車競技大会ロードレース男子競技」において、前途洋々たる１名の選手を失うという落車事故が発生したことにあります。以降、本連盟では主催競技大会の開催を中断して、重大事故のリスクを下げる方策について様々な観点から検討してまいりました。１２月には諸対策の方向性を定めて公表するとともに、本年１月末にはトラック競技大会を再開するに至り、本大会はロードレース再開第２戦目となります。

リスクを下げ安全性を高める方策として、「これだけを行っていれば大丈夫」というような特効薬はないと思われます。競技に関わる全ての皆様がそれぞれの立場で安全に対する意識と知識を高め、原則に立ち返って粛々となすべきことを確実に実施していくことが望まれると考えています。選手の皆様はすでに座学講習会や実地研修会で意識とスキルを高め、レース再開の準備を整えられていると思いますし、審判団や立哨員・チームスタッフの皆様も、それぞれの持ち場での役割に対してぬかりなく準備されているものと思っております。

本連盟では、２０２０年初頭から続くコロナ・パンデミックの中にあっても、様々な感染対策や規模の縮小といった対策を施しつつ、本大会を開催してまいりました。今回は事故後の安全対策として、午前中のグループ３とマスターズ・クリテリウムのレースに替えて、セーフティ・ライド研修会を実施します。また、諸般の事情により海外チームの招聘も今年は見送ることとさせて戴きました。このことによりレース参加機会を失ってしまうという方も居られますが、競技の総体的な安全性向上のためとご理解戴ければと存じます。皆様のご協力のもとようやくここに至ったことに感謝を申し上げますとともに、今後は、従来のようにオーストラリアやオランダの学生との交流機会が復活することに期待しております。

第１７回大会の開催に際し、多大なるご尽力・ご助力を賜りました明治神宮外苑、東京都、新宿区、四谷警察署、四谷消防署、東京都自転車競技連盟、日本自転車競技連盟、日本サイクリング協会をはじめとする多くの諸団体、競技役員や警備・設営・運営関係者の皆様、また本大会にご賛同戴き多大なるご支援を賜りました協賛各社の皆様に対して、重ねて深甚なる感謝の意を表し、ご挨拶とさせて戴きます。

時　程　表 / TIME TABLE

2月25日(土) 14:00-17:00	第13回 大学自転車競技フォーラム東京 「セーフティ・ライド －安全をどのように確保するか－」 ※リモートセミナーで開催	25 Feb (Sat) The 13th University Cycling Forum Tokyo on Remote seminar
2月26日(日)		26 Feb (Sun)
6:00	会場設営開始	Course installation
7:30	競技役員・立哨役員集合打合わせ	Commissaires & Marshalls meeting
9:00	交通規制開始	Public trafic control Start
9:00-9:30	参加選手受付・ゼッケン配布	Body Number distribution
10:00	セーフティ・ライド研修会 / 全コース上	Safety Ride Training session
11:00	開会式 / 絵画館前	Opening Ceremony
11:20	オープン＆ウォームアップ・ライド 1.5km × 5 laps ＝ 7.5km	Open & Warm-up Ride
11:50	タイムトライアル(小・中学生、マスターズ、パラサイクリング) 1.5km × 1 lap ＝ 1.5km	Time Trial (Kids, Master's, Paracycling)
12:20	表彰式 (午前の部) 立哨役員昼食(コース閉鎖)	Awards Ceremony Lunch Break / circuit close
13:00	男子大学生 グループ2　A組	Students Men Group-2-A
13:25	男子大学生 グループ2　B組 1.5km × 8 laps ＝ 12km	Students Men Group-2-B
13:50	女　子(学連登記選手+JCF登録競技者) 1.5km × 8 laps ＝ 12km	Women (JICF + JCF)
14:20	男子大学生 グループ1　(大学対抗) 1.5km × 20 laps ＝ 30km	Students Men Group-1 (University Team Match)
15:10	表彰式・閉会式 (午後の部、大学対抗・シリーズ総合)	Awards & Closing Ceremony
17:00	規制解除　(予定：早まる場合があります)	End of Public trafic control

式　次　第 / CEREMONY PROTOCOL

開 会 式	11時00分より 絵画館前にて (役員・選手整列はいたしません。場内アナウンスをお聞きください。)
開会宣言	前 島　稔 輝　　日本学生自転車競技連盟学生委員長
主催者挨拶	村 岡　　功　　日本学生自転車競技連盟会長
RCS門田杯返還	中 島　　渉　　前々年度 RCS総合リーダー / 立教大学
選手宣誓	西 村　行 生　　前年度大学対抗最上位校 / 慶應義塾大学代表
表 彰 式 (午前の部)	12時20分より 絵画館前にて (表彰対象の選手のみお集まり下さい。場内アナウンスをお聞きください。)
表　彰	小・中学生タイムトライアル マスターズ・タイムトライアル パラサイクリング・タイムトライアル
表彰式・閉会式	15時10分より 絵画館前にて (表彰対象の選手のみお集まり下さい。場内アナウンスをお聞きください。)
表　彰	男子大学生グループ2A，2B 女子クリテリウム 男子大学生グループ1　(大学対抗) 大学対抗チーム優勝杯贈呈 全日本学生ロードレースカップシリーズ総合表彰
歓送のことば	井 関　康 正　　日本学生自転車競技連盟副会長
閉会宣言	古 賀　岳 文　　日本学生自転車競技連盟理事長

競技運営組織 / ORGANIZATION STRUCTURE & COMMISSAIRES

大会代表

大会会長	村岡　功	日本学生自転車競技連盟会長	
大会副会長	井関　康正	日本学生自転車競技連盟副会長	

大会実行委員会

レース・ディレクター	松倉　信裕	日本学生自転車競技連盟副会長 国際自転車競技連合国際コミッセール	
セーフティ・マネージャー	古賀　岳文	日本学生自転車競技連盟理事長	
総務統括	古川　利勝	日本学生自転車競技連盟理事	
スタッフ	藤井　寿	傳野 龍太郎	
レセプション統括	中川　敏彦	日本学生自転車競技連盟常務理事	
設営・立哨統括	森川　和之	日本学生自転車競技連盟理事	
スタッフ	村田　隆宣		
感染対策統括	武田　彰	日本学生自転車競技連盟専務理事	
アドバイザー	大脇　恒夫	日本学生自転車競技連盟理事	
WEB配信・映像統括	十時　隆櫻		
スタッフ	岸本　直樹	植田　瑞貴	(株)コノミチ
セーフティ・ライド研修会担当	日置　聡	東京都自転車競技連盟普及委員会委員長	
スタッフ	山本　晃揮	秋郷　伸一	平泉　浩孝
	古川　雅史	松本　敦	吉井　功治
	千明　勝巳	宮内　忍	森　知多
運営スタッフ（本部）	前島　稔輝	金井　優輝	内山　栄良
	永峯　桃	植松　史弥	
	日本学生自転車競技連盟学生委員会委員		

競技運営

チーフ・コミッセール	荒井　純一	日本学生自転車競技連盟常務理事	
フィニッシュ・ジャッジ	倉田　達樹	日本学生自転車競技連盟常務理事	
モト・コミッセール	大島　環	池内　直人	西沢　倭義
	石田　正樹	玉木　伸雄	
セクレタリー	大脇　恒夫	日本学生自転車競技連盟理事	
通告・音響・解説	芦田　千里(MC)	高島　陽介(PA)	寺部　和貴(PA)
	栗村　修		
アシスタント・コミッセール		日本学生自転車競技連盟審判部会 東京都自転車競技連盟　ほか	
	中川　敏彦	武田　彰	森川　和之
	古賀　岳文	古川　利勝	村田　隆宣
	近嵐智加良	藤井　寿	十時　隆櫻
	長谷川哲也	内田　泰孝	布目　一也
	深井　文浩	宇都宮あゆみ	岡和田真治
	影森真由子	川村　隆	倉橋弥佳子
	神山　和則	小林　文弥	齋藤晃一郎
	佐々木武史	鈴木　和浩	鈴木　克典
	高橋　博	津島　智泰	中桐　確
	長坂堅太郎	中村　真人	服部伸一朗
	原　憲雄	南　憲一	宮川　悦彦
	山浦　一郎	高橋　直子	小島　裕樹
			(順不同)

救　護

大会公式ドクター	金子　稔	寺門　厚彦	
看護師	黒澤　怜	鈴木なつみ	

アンチ・ドーピング検査

JADA リード D.C.O.	青沼 修司		
JADA D.C.O.	堀之内弘恵	丸山 容平	梶原奈津美
	竹中 俊朗	菅沼 俊夫	
NF Rep	坂本 陽一（日本自転車競技連盟アンチドーピング部会 NF代表）		

コース・マーシャル（立哨役員）

日本学生自転車競技連盟審判部会
日本学生自転車競技連盟加盟校 OB・OG・学生

亀田 栞	髙田 楓雅	山口 颯斗
上小牧湖子	塚田 濯	池田 倫之
内藤 丈路	阿部 浩大	大和田龍之慎
藤井 海翔	井出光太郎	植松 郁弥
西村 明展	鎌田 将	久我 聡
佐藤 大和	小笠原 光	加藤 尊
井上 凌玖	松本 昂汰	村上 明
郡司 夕磯	町田 颯	櫻井 仁志
朝比奈知樹	川本 冬矢	濱口 夕海
中島 廉征	濱田 大空	船橋 星来
福地 晶	小林 美柚	大塚 桃子
野中龍之介	吉岡 優太	吉田 唯斗
西田明日香	伊藤 幸菜	永峯 桃
諸隈健太郎	柴山航一郎	平田 裕耀
石川 莉子	高橋 利奈	山本 和瑛
石井麻希斗	片野 樹	中島 陽太
山崎 開登	小嶋 海音	潮崎 孔明
酒井 秀	椿井和佳奈	柴田 大輝
濱田 大輝	疋田 雅人	鈴木 創太
奥山 和紀	天野 勇輝	天野 裕稀
冨倉 巧	前畑 優菜	山下 真依
高良 柊也	下山 聖斗	大河内将泰

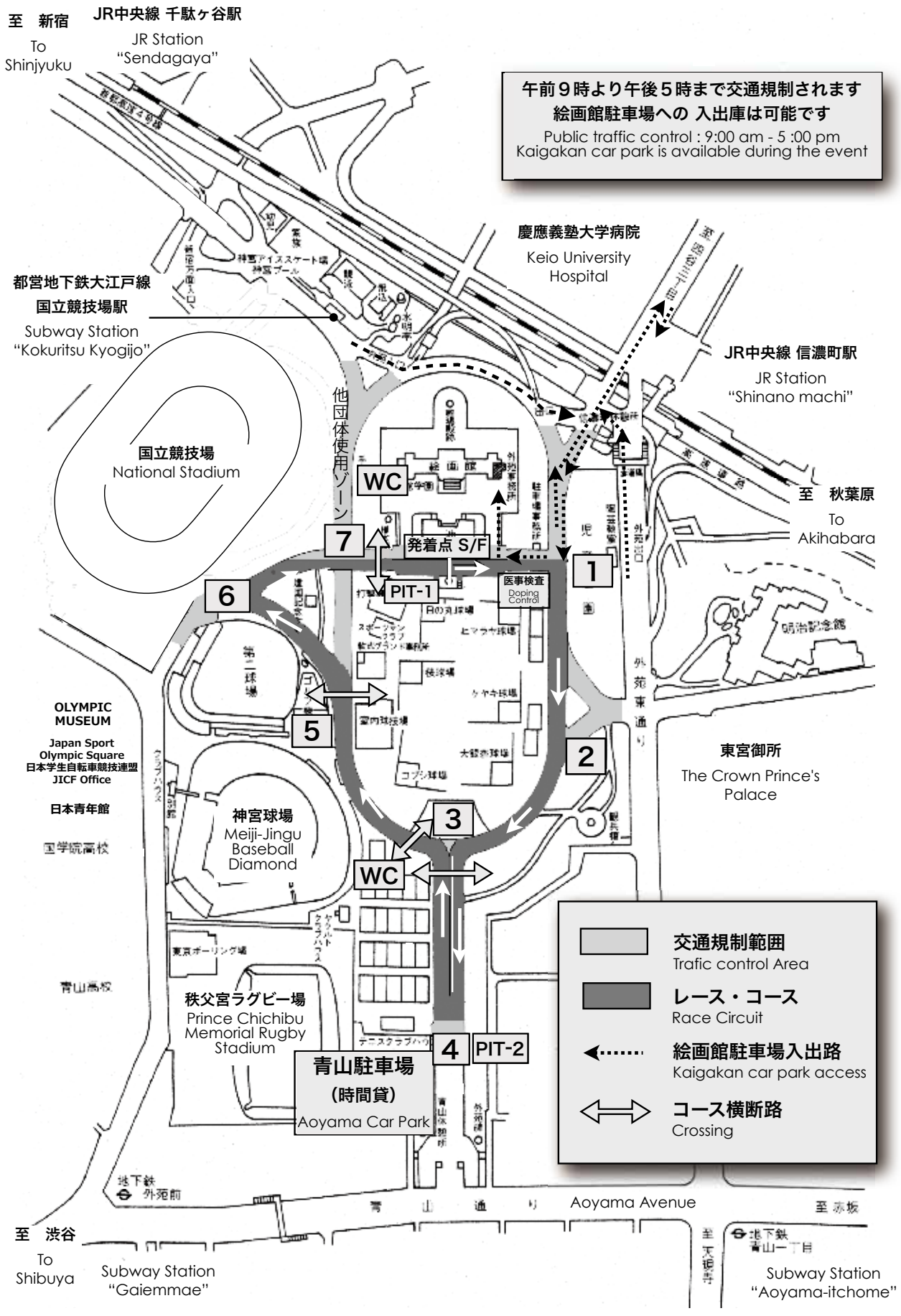
会場設営・警備　株式会社シミズオクト

協　力　東京都自転車競技連盟
Kデザイン・カンパニー
シクロチャンネル

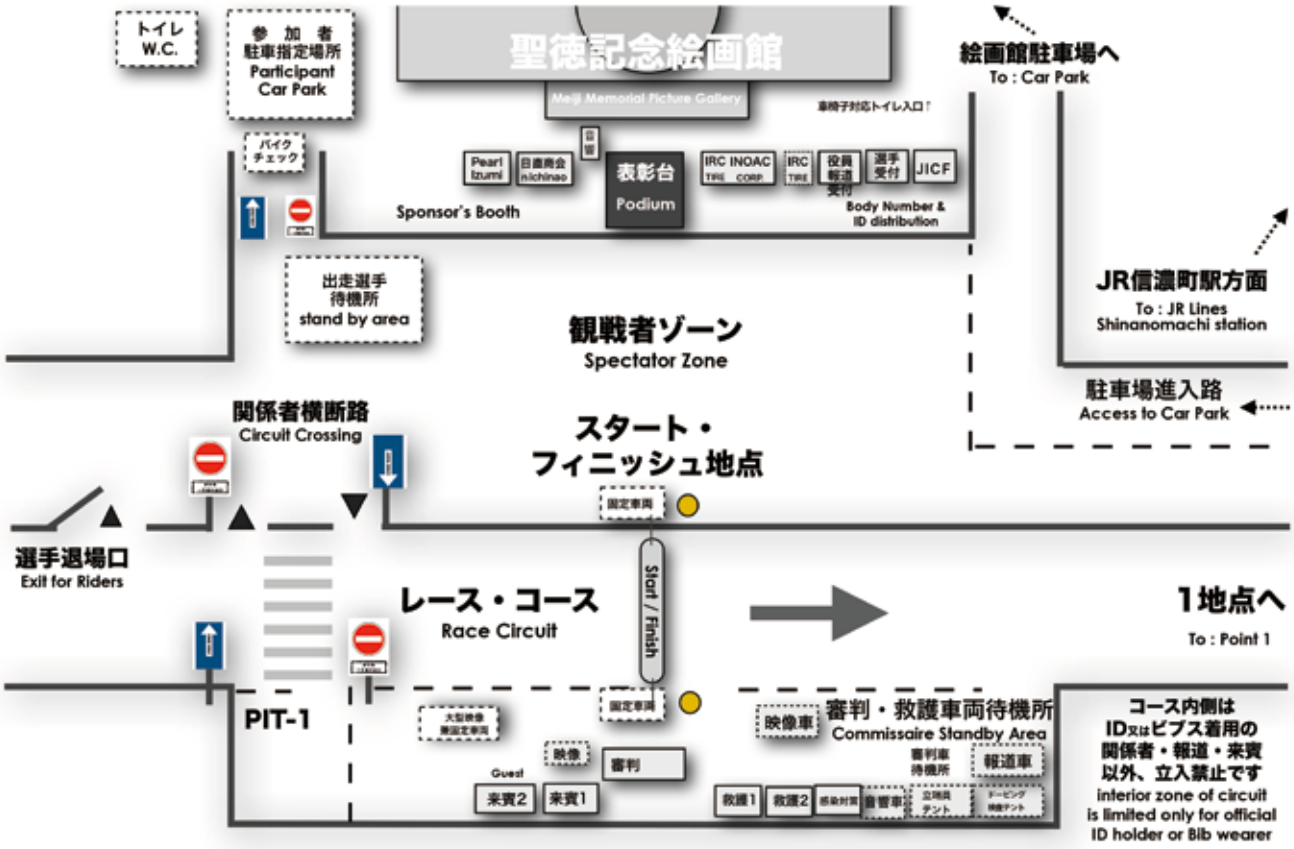
後　援　明治神宮外苑　新宿区
公益財団法人日本自転車競技連盟
公益財団法人日本サイクリング協会　(順不同)

協　賛　井上ゴム工業株式会社
株式会社イノアックコーポレーション
株式会社日直商会
株式会社パールイズミ
株式会社オージーケーカブト
株式会社ユニバーサル・フィナンシャル
有限会社横尾双輪館　(順不同)

コース・規制範囲図 / CIRCUIT PLAN



スタート・フィニッシュ地点周辺詳細図 / START & FINISH AREA MAP



来場者の皆様へ

◎レースは、コース外側からご観戦ください。
◎コース内側は関係者以外立ち入り禁止とさせていただいております。
◎コース内側の運動施設をご利用の方は、係員にお申し付けください。
　コース横断のご案内をいたします。
◎なにかとご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、
　ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

Dear Spectators,

◎ Please watch from outside the fenced area, and stay within the Spectator Zone.
◎ Please do not enter the Race Circuit at all times.
◎ Please make sure to contact your nearest staff when crossing Circuit Crossing.
◎ We apologize in advance for any inconvenience, and thank you for your kind understanding and cooperation.

大会本部：**Race Office at S/F**

聖徳記念絵画館正面
スタート・フィニッシュ地点付近テント
開設時間 Hours　08:00-16:00
電話　　Tel. 090-2207-2369

最寄りの病院：**Nearest Hospital**

慶應義塾大学病院
KEIO University Hospital
〒160-8582
東京都新宿区信濃町 35 番地
Tel. 03-3353-1211 （代表）

東日本大震災復興支援

寛仁親王記念ワールドグランプリ国際自転車競技大会ロードレースラウンド

全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ最終戦

明治神宮外苑大学クリテリウム
を応援しています

株式会社 ユニバーサル・フィナンシャル
UNIVERSAL・FINANCIAL

各種保険のご用命は当社まで

相続・事業承継・TAXプランニング

資産形成・生命保険・ライフプランニング

取扱保険会社

（生命保険）

オリックス生命　朝日生命　ソニー生命　日本生命　はなさく生命　アクサ生命
メットライフ生命　SOMPO ひまわり生命　エヌエヌ生命　FWD生命保険
マニュライフ生命　三井住友海上あいおい生命　明治安田生命　ネオファースト生命

（損害保険）

東京海上日動火災保険　楽天損害保険

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-7-1　椿ビル 5F

☎:03-6206-9328　FAX:03-6206-9329

（担当 :高田信彦 090-1790-9343　E-mail : takada@univ-f.co.jp）

テクニカル・ガイド

v20230117

大会日程　２０２３年２月２６日(日)　（雨天決行、積雪・路面凍結・荒天の場合中止）
会　　場　明治神宮外苑周回コース　１周１.５ｋｍ　（東京都新宿区・港区）
大会主旨　本大会は、本年度全日本学生ロードレースカップ最終戦としてその総合優勝者を決定し、またクリテリウムにおける大学対抗優勝校を決定する大会である。本大会は２００７年２月に首都東京での初めてのクリテリウム大会として開催された「日本学生自転車競技連盟創立７０周年記念行事 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会」を発展的に継承し、学生スポーツのメッカである神宮外苑での学生自転車スポーツの振興普及を図るとともに、日本のサイクル・スポーツ全般の振興と東京の都市文化醸成に寄与することを目的としつつ、更に将来学生自転車競技者となる若年層の拡大に向けて、小・中学生ならびにその両親の年齢層にサイクル・ロードレースの楽しみを体験する機会を提供することをも目指す。
主催・主管　日本学生自転車競技連盟
後　　援　明治神宮外苑　　新宿区　　公益財団法人日本自転車競技連盟　　公益財団法人日本サイクリング協会　(順不同)
会場警備　株式会社シミズオクト
協　　力　東京都自転車競技連盟　　シクロチャンネル　　Ｋデザイン・カンパニー
協　　賛　井上ゴム工業株式会社　　株式会社イノアックコーポレーション　　株式会社日直商会　　株式会社パールイズミ
株式会社オージーケーカブト　　有限会社横尾双輪館　　株式会社ユニバーサル・フィナンシャル　(順不同)
競技規則　国際自転車競技連合(UCI)規則、(公財)日本自転車競技連盟競技規則、本大会特別規則による。
競技種目および参加資格

(全カテゴリ共通事項)

- 別途本連盟より発表の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」を順守し、その遂行に協力し審判・感染対策委員及び総務委員の指示に従うことを参加条件とする。
- 当連盟ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、および当日の体調が新型コロナ罹患を疑われる場合には、それが故意であるかないかに関わらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一生じた如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、当連盟ガイドラインのみならず、所属校・居住地行政などの指針を熟慮のうえ参加可否を判断すること。
- また、試合に参加するにあたって本大会参加選手並びにチームスタッフについては、前項の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿った感染防止対策として本連盟ＨＰ上の以下アドレスに掲載してある「新型コロナウィルス感染防止に関する通知」を順守、実行することを参加条件とする。順守事項が守られていない場合には本大会への参加を認めない。
「新型コロナウィルス感染防止に関する通知」https://jicf.info/covid-19-pandemic-events-protocols/
尚、本通知の他に、大会ごとに必要な事項を取りまとめた感染防止対策に関するコミュニケを別途発表する場合もあるので、注意すること。

(後述カテゴリ 1.2.3.4.5.7.9. 参加資格共通事項)
当該年度に有効な JCF(公益財団法人日本自転車競技連盟)もしくは UCI 加盟国連盟の登録競技者であること。

(1.～4. 参加資格共通事項)
当該年度に有効な登録競技者のうち、本連盟加盟校の登記選手で、スタート以前に直近12ヶ月以内に開催された座学系研修会(リモート講習含む)を少なくとも１回、実地系研修会(リアル参加実技)を少なくとも１回、両方とも受講していることを参加の必須条件とする。本大会では、関東地方以外の加盟校で大会期日以前に実地系研修会(リアル参加実技)に参加することができなかった者を対象として、大会当日午前中にセーフティライド実地系研修会を実施する。この研修会は遠方参加者優先であるが、参加人数に余裕がある場合はすでに実地系研修会に参加実績がある者、レースに参加しない者の参加も受け入れる。座学系研修会(リモート講習含む)は当日行われないので、エントリー時までに１回は参加しておくこと。座学系・実地系研修会を両方ともおよびどちらかの研修会を未受講の者については、スタートを認めない。また、スタート後に未受講が明らかになった場合には、失格とし、そのレースの順位を与えない。
参考：https://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2022/12/2022v6-1223.pdf
参加資格は参加申込時点のクラス区分による。但し参加申込締切後、本大会迄の大会においてクラス３からクラス２に昇格したものはエントリーすることができない。
なお、女子クリテリウムについては本連盟加盟校の登記選手以外の参加も認めるが、当日の実地研修は必須とする。座学講習については後日別途告知する。

(1.～5. は競技用ロードレーサー使用のこと、6. 8. は自転車の制限は特にありません)

1. 男子大学生大学対抗（グループ１）　２０周３０ｋｍ
本年度日本学生自転車競技連盟加盟各校を代表する１校あたり２名から３名までの選手。ただし日本学生自転車競技連盟ロードカテゴリ１または２の選手に限る。本連盟が招聘したチーム、１チームあたり２名から３名までの選手。グループ１の申込者に正当な理由による欠場者がある場合、当日ゼッケン配布時に、グループ２参加申込者より２名迄の補欠を起用する事ができる。また、グループ１の参加者は１名のみ、グループ２の参加申込者と交代することができる。その場合、当日のゼッケン配布時に選手交代届を選手受付に提出すること。選手個人のゼッケン番号は、グループが入れ替わっても、変更しないので注意すること。また、選手交代届については、あらかじめ学連ＨＰ上に用紙をアップするので、プリントして当日に持参すること。２名未満のチームは参加するとはできない。当日欠場により２名未満となったチームはグループ２での出走を認める。
2. 男子大学生グループ２　　８周１２ｋｍ
本連盟ロードカテゴリ・クラス１または２の選手。主催者招待によりオープン参加を認める。
3. 男子大学生グループ３　２０２３年は実施しません。
4. 女子クリテリウム　　８周１２ｋｍ
(公財)日本自転車競技連盟登録女子競技者で本連盟が参加を認めた者。
5. マスターズ・クリテリウム　２０２３年は実施しません。
6. 小・中学生タイムトライアル　　１周１.５ｋｍ
小・中学校年齢の児童・生徒で、ヘルメット＆グローブ着用・自分の自転車で参加できる者。
7. マスターズ・タイムトライアル　　１周１.５ｋｍ
本年度(公財)日本自転車競技連盟通年登録選手(男女)で、開催年1月1日時点で満30歳以上の者。
8. オープン＆ウォームアップ・ライド(レースではありません)　５周７.５ｋｍ
ヘルメット＆グローブ着用・自分の自転車で参加できる者。および上記１から７、９に参加するすべての者。
9. パラサイクリング・タイムトライアル　　１周１.５ｋｍ
本年度(公財)日本自転車競技連盟通年もしくは臨時登録競技者（男女）

各カテゴリとも上限概ね６０名（オープン＆ウォームアップ・ライドは概ね１００名）迄。

- 日本学生自転車競技連盟加盟各校については選手数に応じた立哨役員・競技役員と、大会本部用テントの供出を参加のための必要条件とする。

選手数	供出立哨役員数（東京および隣接県の学校）	供出立哨役員数（左記以外の学校）
1	0	0
2	1	0
3	2	1
4	2	1
5	3	2
6	4	2
7以上	選手数の2/3（少数点以下切り上げ）	選手数の1/3（少数点以下切り上げ）

立哨役員は、コース上の指定された箇所（合計約100カ所）に立ち、選手と一般客・歩行者との事故防止その他の安全管理にあたる。立哨役員は審判資格を必ずしも必要としないが、自転車競技に関する経験もしくは理解があり、自転車競技のスピード感や走行特性について体得している当年３月31日時点で満 18 歳以上の者とする。立哨役員・競技役員には、交通費等は支給されない。

・大会本部用テントの供出数
大学対抗に出場する東京・埼玉・千葉・神奈川の学校から各１張。テントの大きさは特に制限しないが、大きめのものを歓迎。供出するテントの大きさ・数を電子メールで事務局に連絡のこと。持参しない場合は１万円のペナルティーを課す。

・ライセンス確認および出走者確定
大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙に添付すること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。

参加申込　・参加を希望する選手は、１月 30 日（月）午前 12：00 迄に学連ホームページ掲載の所定のエントリー用紙にて jicf.rcs.entry@gmail.com 宛に申込書、ライセンスデータを送付の上、参加費の支払を済ませること。
グループ１については同一期限内にユニフォーム・データ（半袖上半身）も送付すること。
（同データは本連盟のユニフォーム登録にあたって提出するユニフォームデータと同じもので、ロード用半袖上半身、なるべくジャージ・メーカー作成のデータを使用のこと）
振り込み先：長野県労働金庫　諏訪湖支店　普通 9687405　日本学生自転車競技連盟
支払が完了することで参加申込受付完了となる。納入した参加料は理由のいかんに関わらず返却しない。申込後の欠場についてはコロナ禍に鑑みペナルティは課さないが、連絡は事前にすること。

・レース参加料は、男子大学対抗グループ１参加チームは１チーム６万円、その他のカテゴリは本連盟登記大学生 7,000 円、小・中学生 500 円（新宿区・港区在住もしくは在学の小中学生は300 円）、女子オープン 10,000 円、マスターズ・クリテリウム、マスターズ・タイムトライアル各 10,000 円、但しマスターズ・クリテリウムとタイムトライアル２種目参加時は 12,000 円、オープン＆ウォームアップ・ライドのみの参加者は 3,000 円とする。パラサイクリング・タイムトライアルは 10,000 円とする。

・実地研修会参加料は、東京および隣接県以外が登録地である加盟校と女子オープン参加者は 2,000 円、それ以外の希望者等は 4,000 円

・参加料には、駐車料金は含まない。

・グループ１に参加のチームは、プログラム広告を出すことができる。広告原稿締め切り日は１月 30 日、締切に間に合わない原稿は掲載されない。
広告データの作成の注意点　データの仕上がり寸法：仕上がり（高さ 80 mm×左右 170mm）、データの作成アプリケーションと保存方法について：PDF/ X-1a：2001 形式（Acrobat4：PDF 1.3）で保存した PDF データでお願いします。X-1a 形式であるかどうかの確認方法は、PDF を開いて、ファイルからプロパティを選び、カスタムのタブを選ぶと、値のところに PDF/X-1a：2001 と記載されています。X-1a 形式であれば印刷用のデータとなります。もしくは JEPG 形式で保存、またはイラストレータのデータで文字アウトラインをかけて、写真やリンクデータは埋め込み、CS ６以前のデータで保存してください。イラストレータのデータの場合、バージョンによる不具合の可能性があるため、なるべく、X-1a の形式で保存した PDF でご入稿いただくようよろしくお願い申し上げます。

感染対策チーム責任者の届出
男子・女子クリテリウムに選手が参加するチームは、事前に、感染対策に関するチーム毎の責任者を選任し届出なければならない。この責任者は、チーム選手・スタッフ全員が本連盟感染防止ガイドラインを順守し、指示・連絡事項の伝達を徹底するなどして、感染拡大防止に努めなかればならない。

事前チーム代表者会議
２０２３年２月２３日（木）２０時より、リモート事前チーム代表者会議を行う。チーム監督・感染対策チーム責任者は出席のこと。会議アドレスはエントリーシート記載連絡先に連絡する。

大会本部　聖徳記念絵画館正面スタート・フィニッシュ地点付近テント
開設時間 08:00-17:00　電話 090-2207-2369

選手受付　大会本部にて、9:00-9:30 の間にゼッケンを受取ること。（小・中学生、オープン＆ウォームアップ・ライドはライセンス不要）

事故措置　1. 競技中発生した事故について参加者は自ら責任を負う。主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応の事。
2. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入の事。
3. 各選手は、健康保険証を必ず持参すること。

肖像権　本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じること。

会場入場　別途発表のコミュニケを参照ください。

メディア　メディア関係者が来場される場合、当連盟 HP より取材申請書を入手し、大会開催２日前の２０時までに取材申請書をメールで事務局宛ご提出ください。また当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、必要な情報に関する書類の提出などにご協力いただくことを原則とします。なお、体調管理シートに大会開催７日前からの体調・体温についての記録を記入して保存頂き、必要に応じて提出して頂く場合があります。状況により来場をお断りする場合もありますのでご理解ください。

特別規則

第１条（個人順位）
最終周回のフィニッシュラインへの到達順位により順位を決定する。

第２条（大学対校順位）
男子大学生グループ１に出場の各校における上位者２名の順位合計の少ない学校順。順位合計同等の場合はより上位者を有する学校。

第３条（周回獲得、遅れ）
主集団の後尾に追いついた競技者は１周回先行したものとみなし、周回の優位性を認める。原則としてメイン集団より遅れた２０名以下の集団の選手は直ちに失格とする。認められる事故による遅れの場合、遅れ集団が２０名以上の場合はコミッセールの判断による。競技を中止した選手は、コースから出て、速やかにゼッケンを外すこと。

第４条（中間スプリント賞）
男子大学生グループ１の５周回目、１０周回目、１５周回目終了時にフィニッシュラインを１位で通過した者に中間スプリント

賞として賞品を与える。また、女子及びマスターズについては４周回目終了時にフィニッシュラインを１位で通過した者に同じく中間スプリント賞として賞品を与える。

第５条（事故）
認められる事故の場合、グループ１は最後の１０周、グループ2・女子・マスターズは４周、グループ３は２周を除き、１周のニュートラリゼーションが認められる。器材修理は、指定されたピット（S/F 地点および銀杏通り U ターン部）においてのみ認められる。

第６条（飲食料補給）
飲食料の補給は認めない。

第７条（自転車）
公道上を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする。

第８条（無線装置）
競技者はレース中、無線装置の使用を認められない。

第９条（ギア比）
クリテリウムにおけるトップギア時のペダル１回転あたり前進距離を 10.3ｍ以内に制限する。（通常 700c で 53 X11 迄に相当）
タイムトライアルのジュニア、ユースのギア比は JCF 規則による。

第 10 条（賞典）

オープン＆ウォームアップ・ライド	参加者全員に参加賞（表彰式はありません）
小中学生タイムトライアル	完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞（全員表彰台へ）
マスターズ・タイムトライアル	完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞（全員表彰台へ）
親子孫家族表彰	小中学生＋マスターズ・タイムトライアル２名合計タイム最上位者に賞品

以下のカテゴリーは上位３位までを対象として準備が整い次第、表彰式を行う。
マスターズクリテリウム、女子クリテリウム、男子グループ１，２，３
優勝者：賞状・賞品、第 2-8 位：賞状
大学対校順位　優勝校：賞状・賞品、第 2-8 位：賞状
大学生男子グループ３各組上位５%は、クラス２に昇格する。大学生男子グループ２各組ならびに大学生男子グループ１に出走したクラス２の選手の最上位者はクラス１に昇格する。
パラサイクリング 別途定める

第 11 条（その他）
ボトル、食料の残り・包装等、固形物は、フィニッシュ地点およびピットにてチーム同僚が回収する場合のみ地面に静かに落とす事が認められる。それ以外の場所でのあらゆる固形物の投げ捨てはコース内・外、レース中・外を問わず、４０００円のペナルティーを科す。

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。

問い合わせ先：日本学生自転車競技連盟
電子メール：jicf@remus.dti.ne.jp（問い合わせ） jicf.rcs.entry@gmail.com（エントリー）
ホームページ：https://jicf.info/
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア408
電話 & FAX 03-6804-2329（電話は原則として毎週水曜 19 時 –21 時の間のみの対応となります。本連盟へのお問合わせは電子メールにてお願いします。）

誓約書

大会主催者 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

1 UCI（国際自転車競技連合）・JCF（日本自転車競技連盟）規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアーな態度で自転車競技に参加すること。（UCI 規則 1.1.004、JCF 規則第５条 2.（4））
2 大会（競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む）における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。（JCF規則第５条2.（9） 準用）
3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。（UCI 規則 1.1.078）
4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。（UCI 規則 1.1.079 ）
5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。彼は他の者の模範とならなければならない。（UCI 規則 1.1.080）
6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしいれたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCI および自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。（UCI 規則 1.2.079）
7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。（UCI 規則 1.2.081）
8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。競技者は開催国における法律を順守しなければならない。（UCI 規則 1.2.082）

まもる笑顔は、未来のため。

“すべての人に安全と安心を提供するメーカー”、オージーケーカブトは、子供から大人にいたるまで、ずっとみなさまのパートナーとして親しんでいただける生涯ブランドを目指し、「品質と心質」にこだわり続けます。すべての笑顔を守るために。

Kabuto

www.ogkkabuto.co.jp

出走者一覧 / START LIST

オープン＆ウォームアップ・ライド（レースではありません）
OPEN & WARM UP RIDE

11:20 スタート
1.5km×5周＝7.5km

ゼッケン	氏名	ゼッケン	氏名	ゼッケン	氏名
320	山田　勝久	321	黒枝　士揮	322	清水　秀和
323	松倉　信裕	324		325	

小中学生タイムトライアル
KIDs TIME TRIAL

11:50 スタート
1.5km×1周＝1.5km

出走順	ゼッケン	氏名	Name	学年	スタート時刻	フィニッシュ	記録（タイム）
1	306	毛利　瑞紀	MOURI, Mizuki	中3	11:50:00	:　:　"	分　秒
2	305	芝山　瑠透	SHIBAYAMA, Ruito	中1	11:51:00	:　:　"	分　秒
3	304	小路　裕紀	KOUJI, Yuuki	中1	11:52:00	:　:　"	分　秒
4	303	米田　晃大	YONEDA, Kouda	小6	11:53:00	:　:　"	分　秒
5	302	山田　大夢	YAMADA, Hiromu	小3	11:54:00	:　:　"	分　秒
6	301	鎌田　晃士	KAMATA, Akito	小2	11:55:00	:　:　"	分　秒

マスターズタイムトライアル
MASTER'S TIME TRIAL

12:00 スタート
1.5km×1周＝1.5km

出走順	ゼッケン	氏名	Name	スタート時刻	フィニッシュ	記録（タイム）
1	251	矢野　国康	YANO, Kuniyasu	43Rapide		
				12:00:00	:　:　"	分　秒
2	252	川島　健人	KAWASHIMA, Kento	なるしまフレンド		
				12:01:00	:　:　"	分　秒

男子大学生 グループ2 A組
GROUP-2-A / UNIVERSITY STUDENT-MEN

13:00 スタート
1.5km×8周＝12km

ゼッケンNo.	氏　名	Name	大学名（Name of Team）	学年
61	伊東　昴	ITO, Subaru	筑波大学	3
62	笹川　悠汰	SASAGAWA, Yuta	作新学院大学	4
63	小関　創斗	KOSEKI, Souto	作新学院大学	2
64	髙田　颯天	TAKADA, Hayate	作新学院大学	1
65	川野　碧己	KAWANO, Aoki	慶應義塾大学	3
66	阿見寺 俊哉	AMIJI, Shunya	東京都市大学	1
67	甲斐　隼人	KAI, Hayato	日本大学	3
68	北嶋　桂大	KITASHIMA, Keita	日本大学	2
69	向川　颯太	MUKOGAWA, Hayata	日本大学	2
70	白川　隆太	SHIRAKAWA, Ryuta	日本大学	2
71	新井　敬太	ARAI, Keita	日本大学	1
72	菅野　蒼羅	SUGENO, Aira	日本大学	1
73	大山　航平	OHYAMA, Kouhei	法政大学	2
74	堀北　大和	HORIKITA, Yamato	法政大学	1
75	吉房　暖人	YOSHIFUSA, Haruto	明治大学	3
76	林原　聖真	HAYASHIBARA, Shoma	明治大学	1
77	石田　眞大	ISHIDA, Mahiro	早稲田大学	2
78	比嘉　祐貴	HIGA, Yuki	日本体育大学	3
79	髙久 胡太郎	TAKAKU, Kotaro	日本体育大学	2
80	泉　颯太	IZUMI, Souta	日本体育大学	1
81	檜村　奏太	HIMURA, Souta	新潟食料農業大学	3
82	福田　一輝	FUKUDA, Kazuki	朝日大学	3
83	藤本　大吉	FUJIMOTO, Daikichi	朝日大学	3
84	山口　涼輔	YAMAGUCHI, Ryosuke	朝日大学	2
85	水井　悠都	MIZUI, Yuto	南山大学	2
86	清水 稜太郎	SHIMIZU, Ryotaro	明治国際医療大学	1
87	沖本　拓己	OKIMOTO, Takumi	立命館大学	2
88	大日方 将人	OBINATA, Masato	大阪大学	4
89	森山　大吾	MORIYAMA, Daigo	関西大学	3
90	吉田　晴登	YOSHIDA, Haruto	徳島大学	2
91	具志堅 大士	GUSHIKEN, Taishi	鹿屋体育大学	3

男子大学生 グループ2 B組
GROUP-2-B / UNIVERSITY STUDENT-MEN

13:25 スタート
1.5km×8周＝12km

ゼッケンNo.	氏　名	Name	大学名（Name of Team）	学年
92	松本　輝	MATSUMOTO, Hikaru	作新学院大学	4
93	重田 倫一郎	SHIGETA, Rinichiro	作新学院大学	3
94	左田　龍脩	SADA, Ryusuke	作新学院大学	1
95	重田　恵杜	SHIGETA, Keito	順天堂大学	4
96	山本　昂広	YAMAMOTO, Takahiro	東京都市大学	3
97	竹林　智也	TAKEBAYASHI, Tomoya	東洋大学	4
98	稲延　夢元	INANOBE, Mugen	日本大学	3
99	吉川　敬介	YOSHIKAWA, Keisuke	日本大学	2
100	髙佐 龍太郎	KOSA, Ryutaro	日本大学	2
101	古山　覚理	FURUYAMA, Satori	日本大学	2
102	森本 凛太郎	MORIMOTO, Rintaro	日本大学	1
103	黒川 祐次郎	KUROKAWA, Yujiro	法政大学	3
104	石井　海斗	ISHII, Kaito	法政大学	1
105	小池　陽斗	KOIKE, Akito	明治大学	3
106	片岡　遼真	KATAOKA, Ryoma	明治大学	2
107	永野　昇海	NAGANO, Shomi	明治大学	1
108	齋藤　祥樹	SAITO, Yoshiki	東海大学	4
109	松岡　優馬	MATSUOKA, Yuma	日本体育大学	3
110	池田　悠生	IKEDA, Yusei	日本体育大学	1
111	福永　和人	FUKUNAGA, Kazuto	日本体育大学	1
112	酒井　章剛	SAKAI, Shogo	新潟食料農業大学	1
113	伊豆野　廉	IZUNO, Ren	朝日大学	3
114	長谷川 大悟	HASEGAWA, Daigo	朝日大学	3
115	酒井　翔伍	SAKAI, Shogo	中京大学	1
116	水上　隆助	MINAKAMI, Takasuke	同志社大学	4
117	弥村　皆斗	YAMURA, Minato	立命館大学	4
118	山本　拓海	YAMAMOTO, Takumi	龍谷大学	4
119	副島　達海	SOEJIMA, Tatsumi	大阪産業大学	1
120	山口 健士郎	YAMAGUCHI, Kenshiro	関西大学	1
121	石丸 幸士郎	ISHIMARU, Koshiro	福岡大学	2
122	石原　悠太	ISHIHARA, Yuta	鹿屋体育大学	1

女子クリテリウム
WOMEN'S CRITERIUM

13:50 スタート
1.5km×8周＝12km

ゼッケンNo.	氏　名	Name	Name of Team	学年
201	阿部　花梨	ABE, Karin	順天堂大学	4
202	牧田　咲子	MAKITA, Sakiko	順天堂大学	3
203	沢登　香里	SAWANOBORI, Kaori	順天堂大学	2
204	田中　杏奈	TANAKA, Anna	順天堂大学	1
205	渡部　春雅	WATABE, Kasuga	明治大学	2
206	石田　唯	ISHIDA, Yui	早稲田大学	2
207	大蔵こころ	OHKURA, Kokoro	早稲田大学	1
208	石田　明莉	ISHIDA, Akari	日本体育大学	1
209	大野風貴芽	OHNO, Fukime	日本体育大学	1
210	小林あか里	KOBAYASHI, Akari	信州大学	3
211	荒木　杏樹	ARAKI, Anju	立命館大学	4
212	岩元　美佳	IWAMOTO, Mika	鹿屋体育大学	1
213	川本　莉子	KAWAMOTO, Riko	鹿屋体育大学	1
Y 214	筒井　楓	TSUTSUI, Kaede	TEAM SPORTSKID ZYYX	

中間スプリント賞 INTERMEDIATE SPRINT	ゼッケンNo.	Name	Name of Team
4周回終了時			

★★レース観戦ミニ知識★★

「クリテリウム」とは ☆☆☆

“CRITERIUM”というラテン語は、「基準」を意味するギリシャ語“criterion”から来ていて、競走馬の「選抜競走」といった意味でも使われているようです。自転車競技の世界では、「都市型ショートサーキット・ロードレース」を指す言葉として定着しています。

オリンピックや世界選手権で行われる本格的な自転車ロードレースが、原則として１周１２ｋｍ以上で起伏を伴う周回コースで実施されるのに対して、「クリテリウム」は１周８００ｍから１０ｋｍまでの都市部周回路を用いて行われます。この形態であれば、東京のような大都市中心部でも比較的小さな負担（とはいっても実際は結構大きな負担ですが）でスポーツ・サイクリングの競技大会を実施することができます。ヨーロッパで根強い人気と伝統があるばかりでなく、近年は豪州やアジアなど世界的にも盛んに行われてきています。周回数の多寡の設定により、初心者から上級者まで幅広いカテゴリーの人々を受け入れる大会を実施することが可能であること、１周に要する時間が短いので観客が何度も選手を見ることができること、など都市生活者にとってなじみ易いサイクルレースの形態であると云えます。

本大会は「ロードレース方式」で行われます。マラソンと同じように、「用意、ドン」で一斉にスタートし、最終周回にフィニッシュラインを最初に横切った順に順位を確定する方式です。弱い選手を早めに振り落とすために前半からスピードを上げたり、ライバルの体力を消耗させるためにチームの作戦に沿ってアタックを仕掛けるなどの展開が行われます。また、途中の周回で賞品が授与される中間スプリントが設けられることがあり、レース中盤での盛り上がりも見どころのひとつとなります。

AIR SPEED

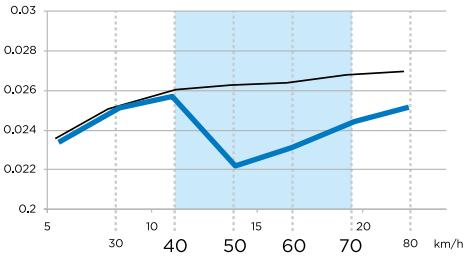
ロードバイクの有効速度に特化して開発した空気抵抗軽減素材「スピードセンサー®Ⅱ」

エアスピードシリーズ

エアスピード半袖ジャージ

エアスピードビブパンツ

２０２１年日本ナショナルチームのウェアにも採用された空気抵抗軽減素材「スピードセンサー®Ⅱ」を使用したオーダーウェアのハイエンドモデル。乗車姿勢を忠実に再現した超立体設計で動きやすさもアップ。トップ選手が使用する、レース志向のサイクリストに人気のウェアです。エアスピードシリーズは、半袖ジャージ、ビブパンツ、半袖ロードスーツ、長袖ワンピースをご用意しています。



風洞実験や PIV 測定を繰り返し、作られた素材は、レースでの速度域にあたる 40km/h から空気抵抗の軽減効果が加速し、50km/h 付近で空気抵抗の軽減が最大化する（青線がスピードセンサー®Ⅱ）

トップアスリートに選ばれるクオリティ

パールイズミのオーダーウェア

トップアスリートも着用する高機能素材、発色の良いプリントで、チームの個性を生かしたオリジナルウェアを、パールイズミの専門スタッフが一緒に作り上げます。学生向け特別価格もご用意し、学生サイクリストを応援します。

株式会社パールイズミ オーダーサービス課
〒130-0026　東京都墨田区両国 2-4-2
TEL 03-3633-5461

オーダーサービスのページはこちら

男子大学生 グループ1（大学対抗）
GROUP-1 / UNIVERSITY STUDENT-MEN

14:20 スタート
1.5km×20周＝30km

ゼッケンNo.	氏　名	Name	大学名（Name of Team）	学年
1	篠崎　蒼平	SHINOZAKI, Souhei	東京大学	3
2	吉田　頌	YOSHIDA, Sho	東京大学	4
3	長坂　和輝	NAGASAKA, Kazuki	東京大学	2
4	西村　行生	NISHIMURA, Kousei	慶應義塾大学	3
5	佐藤　岳	SATO, Gaku	慶應義塾大学	3
6	山田 壮太郎	YAMADA, Soutaro	慶應義塾大学	2
7	中島　渉	NAKAJIMA, Ayumi	立教大学	2
8	阿部　耀介	ABE, Yousuke	立教大学	3
9	外園 晋之介	HOKAZONO, Shinnosuke	立教大学	1
10	塩出　皓成	SHIODE, Kousei	順天堂大学	2
11	菅原　聡	SUGAWARA, Satoshi	順天堂大学	1
12	中島　壮琉	NAKAJIMA, Soru	順天堂大学	1
13	佐藤　寛朗	SATO, Hiroaki	駒澤大学	4
14	宮本　秋哉	MIYAMOTO, Shuya	駒澤大学	4
15	中嶋　力斗	NAKASHIMA, Rikito	駒澤大学	2
16	中村　龍吉	NAKAMURA, Tatsuyoshi	中央大学	4
17	伊藤　恭	ITO, Kyo	中央大学	2
18	釜田　佳典	KAMADA, Yoshinori	中央大学	1
19	生野　優翔	SHONO, Yuto	日本大学	3
20	北宅　柊麻	KITAYA, Toma	日本大学	3
21	中野　楚樂	WU, Chuluo	日本大学	2
22	宇田川　塁	UDAGAWA, Rui	法政大学	2
23	増山　輝咲	MASUYAMA, Kazaki	法政大学	2
24	逸崎　瑞喜	ITSUZAKI, Mizuki	法政大学	2
25	村上 裕二郎	MURAKAMI, Yujiro	明治大学	2
26	小久保 瑠惟	KOKUBO, Rui	明治大学	1
27	小泉　響貴	KOIZUMI, Hibiki	明治大学	1
28	中野　大詞	NAKANO, Daiji	早稲田大学	2
29	美甘 星次郎	MIKAMO, Seijiro	早稲田大学	2
30	大仲　凜功	OHNAKA, Riku	早稲田大学	1
31	北村　翔太	KITAMURA, Shota	日本体育大学	3
32	玉城　翔太	TAMASHIRO, Shota	日本体育大学	2
33	福田　晃司	FUKUDA, Kouji	日本体育大学	2
34	井上　智巴	INOUE, Tomoha	信州大学	2
35	辻本　青矢	TSUJIMOTO, Seiya	信州大学	2
36	山内　渉	YAMAUCHI, Wataru	信州大学	1
37	安達　光伸	ADACHI, Koushin	朝日大学	3
38	山本　大智	YAMAMOTO, Daichi	朝日大学	3
39	上杉　有弘	UESUGI, Tomohiro	朝日大学	3
40	初川　弘浩	HATSUKAWA, Kouhiro	中京大学	3
41	小森　悠音	KOMORI, Yuto	中京大学	1
42	大岩　広輝	OHIWA, Hiroki	中京大学	1

ゼッケンNo.	氏　名	Name	大学名（Name of Team）	学年
43	榎木　啓樹	ENOKI, Keiju	立命館大学	2
44	高本　亮太	KOMOTO, Ryota	立命館大学	2
45	松井　丈治	MATSUI, Jouji	立命館大学	1
46	至田　恵人	SHIDA, Keito	関西大学	3
47	平井　杏周	HIRAI, Anshu	関西大学	2
48	古賀　仁誠	KOGA, Jinsei	関西大学	1
49	新垣　慶晃	ARAKAKI, Chikateru	鹿屋体育大学	4
50	伊澤　将也	IZAWA, Masaya	鹿屋体育大学	3
51	安井　悠真	YASUI, Yuma	鹿屋体育大学	2

中間スプリント賞 INTERMEDIATE SPRINT	ゼッケンNo.	Name	Name of Team
5周回終了時			
10周回終了時			
15周回終了時			

男子大学生グループ１ チームユニフォーム紹介

東京大学

１ 篠﨑 蒼平
２ 吉田 頌
３ 長坂 和輝

慶應義塾大学

４ 西村 行生
５ 佐藤 岳
６ 山田 壮太郎

立教大学

７ 中島 渉
８ 阿部 耀介
９ 外園 晋之介

順天堂大学

１０ 塩出 皓成
１１ 菅原 聡
１２ 中島 壮琉

駒澤大学

１３ 佐藤 寛朗
１４ 宮本 秋哉
１５ 中嶋 力斗

中央大学

１６ 中村 龍吉
１７ 伊藤 恭
１８ 釜田 佳典

男子大学生グループ１ チームユニフォーム紹介

日本大学

19 生野　優翔
20 北宅　柊麻
21 中野　楚樂

法政大学

22 宇田川　塁
23 増山　輝咲
24 逸崎　瑞喜

明治大学

25 村上 裕二郎
26 小久保 瑠惟
27 小泉　響貴

早稲田大学

28 中野　大詞
29 美甘 星次郎
30 大仲　凜功

日本体育大学

31 北村　翔太
32 玉城　翔太
33 福田　晃司

信州大学

34 井上　智巴
35 辻本　青矢
36 山内　渉

朝日大学

37 安達　光伸
38 山本　大智
39 上杉　有弘

中京大学

40 初川　弘浩
41 小森　悠音
42 大岩　広輝

立命館大学

43 榎木　啓樹
44 高本　亮太
45 松井　丈治

関西大学

46 至田　恵人
47 平井　杏周
48 古賀　仁誠

鹿屋体育大学

49 新垣　慶晃
50 伊澤　将也
51 安井　悠真

一緒につくりあげた、技術力

IRC TIRE
Inoue Rubber Co.,Ltd.

二輪タイヤメーカー iRC TIREは、
安心と安全を使命にプロダクトを通じ「駆ける歓び」
「新しい価値」を提供してまいります。

irc-tire.com

アイ・アール・シー 井上ゴム工業株式会社
〈本社〉〒450-0003
愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目13-4
〈海外拠点〉北米・中国・東南アジア

Innovation & Action
INOAC

マットレス・住宅用断熱材・自動車部品・保冷輸送機器
「見えないところから暮らしを快適に」
それがイノアックの使命です。

inoac.co.jp

株式会社イノアック コーポレーション
〈本社〉〒450-0003　愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目13-4
〈支店〉東京・名古屋・大阪・九州　〈営業所〉札幌・東北・浜松・広島
〈海外拠点〉北米・中国・東南アジア　他

iRC TIREとイノアックはグループ企業です。

第一回大会成績 / RESULTS OF THE 1st EVENT　2007年2月4日（日）

日本学生自転車競技連盟創立70周年記念行事　明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位

1位	明治大学
2位	鹿屋体育大学
3位	法政大学
4位	早稲田大学
5位	日本大学
6位	中央大学
7位	中京大学

グループA

1位	湯浅　徹	明治大学
2位	角　令央奈	鹿屋体育大学
3位	島田　真琴	法政大学

グループB

1位	湯浅　大輔	法政大学
2位	我妻　敏	日本大学
3位	兼平　純	日本大学

グループC

1位	遠藤　邦明	法政大学
2位	下沖　功児	慶應義塾大学
3位	阿部　力也	日本大学

グループD

1位	工藤　薫	早稲田大学
2位	大谷　雄貴	東海大学
3位	岡林　秀樹	信州大学

女子

1位	和田見里美	中京大学
2位	石井　寛子	明治大学
3位	小淵　千恵	順天堂大学

第二回大会成績 / RESULTS OF THE 2nd EVENT　2008年2月11日（祝）

2008年世界大学選手権自転車競技大会代表選手選考大会・日仏交流150周年記念

2007年度全日本学生ロードレースシリーズ最終戦　第二回 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位

1位	法政大学
2位	鹿屋体育大学
3位	早稲田大学
4位	順天堂大学
5位	明治大学
6位	日本大学
7位	中央大学

シリーズ戦総合成績

1位	辻本　翔太	順天堂大学
2位	渡辺　将大	中央大学
3位	笠原　慶輔	明治大学
4位	飯塚　航	中央大学
5位	池田　諒	明治大学
6位	山本　雅之	中央大学
7位	半田　信頼	順天堂大学
8位	十時　正嗣	早稲田大学

女子

1位	川又　千裕	鹿屋体育大学
2位	戸井麻里子	
3位	智野　真央	

マスターズ・クリテリウム

1位	高橋　仁	千葉
2位	善波　昭	東京
3位	藤井　壮太	静岡
12位	ベルナール・イノー	フランス

グループ1（大学対抗）

1位	湯浅　徹	明治大学
2位	内間　康平	鹿屋体育大学
3位	青柳　憲輝	法政大学

グループ2

1位	渡辺耕三郎	中央大学
2位	石倉　龍二	日本大学
3位	三浦　健正	法政大学

グループ3

1位	江夏　司朗	鹿屋体育大学
2位	後藤　太志	法政大学
3位	東矢　昇太	中央大学

小中学生タイムトライアル

結果は外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください

第三回大会成績 / RESULTS OF THE 3rd EVENT　2009年2月22日（日）

2008年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦　第三回 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位

1位	鹿屋体育大学
2位	中央大学
3位	日本大学
4位	順天堂大学
5位	法政大学
6位	東京大学

シリーズ戦総合成績

1位	辻本　翔太	順天堂大学
2位	西薗　良太	東京大学
3位	福田　高志	大阪経済大学
4位	堀内　俊介	中央大学
5位	飯塚　航	中央大学
6位	加藤　哲史	順天堂大学
7位	飯野　智行	中央大学
8位	入部正太朗	早稲田大学

グループ3B

1位	若生　大貴	法政大学	33P
2位	二階堂尚志	関西大学	24P
3位	山田　亮	日本大学	10P

マスターズ・クリテリウム

1位	佐々木一昭	15P
1位	善波　昭	15P
3位	小畑　郁	10P

グループ1（大学対抗）

1位	内間　康平	鹿屋体育大学	42P
2位	吉田　隼人	鹿屋体育大学	23P
3位	窪木　一茂	日本大学	19P

グループ2

1位	角　令央奈	鹿屋体育大学	16P
2位	田仲　康矢	名桜大学	14P
3位	大久保　陣	法政大学	13P

女子

1位	荻島　美香	アライレーシング	37P
2位	近藤　美子	鹿屋体育大学	20P
3位	堀　友紀代	Ready Go JAPAN	17P

グループ3A

1位	川本　琢也	法政大学	18P
2位	棚原　寛崇	名桜大学	15P
3位	小山真太朗	日本大学	13P

小中学生タイムトライアル
親子タイムトライアル (親子の合計タイム)

結果は外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください
https://gaiencriterium.tokyo/

第四回大会成績 / RESULTS OF THE 4th EVENT　2010年2月21日（日）

2009年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦　第四回 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位

1位	早稲田大学
2位	中央大学
3位	鹿屋体育大学
4位	韓國體育大學校
5位	日本大学
6位	順天堂大学
7位	法政大学

シリーズ戦総合成績 (門田杯)

1位	西薗　良太	東京大学
2位	堀内　俊介	中央大学
3位	飯野　智行	中央大学
4位	十時　正嗣	早稲田大学
5位	入部正太朗	早稲田大学
6位	佐々木　龍	早稲田大学
7位	郡司　昌紀	中央大学
8位	福田　高志	大阪経済大学

グループ3B

1位	佐々木　真	法政大学	20P
2位	前田　紘明	順天堂大学	12P
3位	清水　洋佑	同志社大学	9P

マスターズ・クリテリウム

1位	橋本　健	20P
2位	加地　邦彦	13P
3位	倉林　貴彦	11P

グループ1（大学対抗）

1位	野口　正則	鹿屋体育大学	29P
2位	佐々木　龍	早稲田大学	21P
3位	李　成鎬	韓國體育大學校	19P

グループ2

1位	鈴木　近成	法政大学	15P
2位	野中　竜馬	鹿屋体育大学	13P
3位	山地　大介	順天堂大学	12P

女子

1位	近藤　美子	鹿屋体育大学	15P
2位	和田見里美	中京大学	13P
3位	田中　まい	日本体育大学	12P

グループ3A

1位	木村　洋介	順天堂大学	15P
2位	荻原　英文	中央大学	10P
3位	阿部　拓真	法政大学	9P

小中学生タイムトライアル
マスターズ・タイムトライアル

結果は外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください
https://gaiencriterium.tokyo/

第五回大会成績 / RESULTS OF THE 5th EVENT　2011年2月20日（日）

2010年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦　第五回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位

1位	オランダ学生チーム
2位	中央大学
3位	日本大学
4位	鹿屋体育大学
5位	順天堂大学
6位	東京大学
7位	明治大学
8位	慶應義塾大学

シリーズ戦総合成績 (門田杯)

1位	西薗　良太	東京大学
2位	笠原　恭輔	中央大学
3位	入部正太朗	早稲田大学
4位	堀内　俊介	中央大学
5位	大中　巧基	早稲田大学
6位	窪木　一茂	日本大学
7位	郡司　昌紀	中央大学
8位	中根　英登	中京大学

グループ3B

1位	福沢　涼太	日本体育大学	17P
2位	高橋　知生	東北学院大学	12P
3位	澤田　隼	東京工業大学	12P

マスターズ・クリテリウム

1位	小畑　郁	16P
2位	ソールズベリー・ポール	15P
3位	増田　輝之	13P

グループ1（大学対抗）

1位	吉田　隼人	鹿屋体育大学	38P
2位	窪木　一茂	日本大学	32P
3位	Lars van de Vall	オランダ学生チーム	25P

グループ2

1位	山本　元喜	鹿屋体育大学	19P
2位	住吉　宏太	日本大学	19P
3位	大中　巧基	早稲田大学	11P

女子

1位	石井　寛子	スーパーKアスリートラボ	28P
2位	近藤　美子	鹿屋体育大学	24P
3位	田中　まい	日本体育大学	17P

グループ3A

1位	安原　寿人	山梨学院大学	17P
2位	大庭　尚也	日本大学	10P
3位	村田　拓也	環太平洋大学	10P

小中学生タイムトライアル
マスターズ・タイムトライアル
親子タイムトライアル (親子の合計タイム)

結果は外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください
https://gaiencriterium.tokyo/

第六回大会成績 / RESULTS OF THE 6th EVENT　2012年2月19日（日）

2011年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦　第六回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位
1位 日本大学
2位 早稲田大学
3位 中央大学
4位 メルボルン大学チーム
5位 明治大学
6位 立教大学
7位 鹿屋体育大学
8位 順天堂大学

シリーズ戦総合成績（門田杯）
1位 大中 巧基 早稲田大学
2位 入部 正太朗 早稲田大学
3位 山本 隼 中央大学
3位 安井 雅彦 東京大学
5位 西沢 倭義 明治大学
5位 金井 誠人 明治大学
7位 佐々木 龍 早稲田大学
8位 早川 朋宏 法政大学

マスターズ・クリテリウム
1位 小畑 郁 27P
2位 ソールズベリー・ポール 13P
3位 山本 健一 13P

小中学生タイムトライアル
マスターズ・タイムトライアル
結果は外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください
https://gaiencriterium.tokyo/

グループ1（大学対抗）
1位 黒枝 士揮 鹿屋体育大学 31P
2位 窪木 一茂 日本大学 29P
3位 堀内 俊介 中央大学 25P

グループ2A
1位 和田 力 日本大学 18P
2位 雨宮 正樹 日本大学 17P
3位 三浦 康嵩 早稲田大学 8P

グループ2B
1位 板橋 義浩 日本大学 15P
2位 緑川 竣一 中央大学 14P
3位 矢次 栞 順天堂大学 10P

グループ3A
1位 平井 匠 法政大学 13P
2位 村上 哲也 順天堂大学 12P
3位 今井 一誠 早稲田大学 12P

グループ3B
1位 松本 諒太 朝日大学 17P
2位 阿部 拓真 法政大学 13P
3位 足立 一真 早稲田大学 12P

女子
1位 塚越さくら 鹿屋体育大学 33P
2位 小島 蓉子 日本体育大学 24P
3位 古河 麻美 日本体育大学 17P

第七回大会成績 / RESULTS OF THE 7th EVENT　2013年2月17日（日）

2012年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦　第七回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位
1位 鹿屋体育大学
2位 順天堂大学
3位 中京大学
4位 法政大学
5位 アムステルダム大学
6位 中央大学
7位 日本大学
8位 明治大学

シリーズ戦総合成績（門田杯）
1位 西沢 倭義 明治大学
2位 大中 巧基 早稲田大学
3位 佐々木 勇輔 早稲田大学
4位 金井 誠人 明治大学
5位 山本 隼 中央大学
6位 森田 雅士 立教大学
7位 緑川 竣一 中央大学
8位 安井 雅彦 東京大学

グループ3B
1位 吉川 希望 順天堂大学 17P
2位 森川 拳輔 法政大学 12P
3位 栗田 万生 順天堂大学 10P

マスターズ・クリテリウム
1位 倉林 貴彦 22P
2位 小室 雅成 16P
3位 小畑 郁 16P

グループ1（大学対抗）
1位 黒枝 士揮 鹿屋体育大学 38P
2位 西沢 倭義 明治大学 22P
3位 Lars van de Vall アムステルダム大学 20P

グループ2A
1位 橋本 英也 鹿屋体育大学 27P
2位 黒瀬 耕平 中央大学 15P
3位 相本 祥政 法政大学 8P

グループ2B
1位 笠原 恭輔 中央大学 15P
2位 高宮 佑介 日本大学 15P
3位 谷岡 駿 朝日大学 12P

グループ3A
1位 山本 琢也 朝日大学 16P
2位 関根 寛人 法政大学 12P
3位 米川 正人 駒澤大学 10P

女子
1位 上野みなみ 鹿屋体育大学 22P
2位 塚越さくら 鹿屋体育大学 19P
3位 小島 蓉子 日本体育大学 15P

小中学生タイムトライアル
マスターズ・タイムトライアル
結果は外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください
https://gaiencriterium.tokyo/

第八回大会成績 / RESULTS OF THE 8th EVENT　2014年2月16日（日）

2013年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦　第八回 明治神宮外苑大学クリテリウム

※前々日の大雪によるコース上の残雪が非常に多いため試合開催中止。
（ロードレース・カップ・シリーズ総合表彰式、大学自転車フォーラムは実施）

シリーズ戦総合成績（門田杯）
1位 金井 誠人 明治大学
2位 佐々木 勇輔 早稲田大学
3位 高木 三千也 立教大学
4位 森田 雅士 立教大学
5位 小林 和希 明治大学
6位 山本 隼 中央大学
7位 小清水 拓也 東海大学
8位 池邊 聖 慶應義塾大学

第九回大会成績 / RESULTS OF THE 9th EVENT　2015年3月8日（日）

2014年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦　第九回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位
1位 鹿屋体育大学
2位 法政大学
3位 中央大学
4位 順天堂大学
5位 東京大学
6位 日本体育大学
7位 早稲田大学
8位 中京大学

シリーズ戦総合成績（門田杯）
1位 相本 祥政 法政大学
2位 小林 和希 明治大学
3位 高木 三千也 立教大学
4位 荒井 佑太 法政大学
5位 河賀 雄大 立命館大学
6位 佐々木 勇輔 早稲田大学
7位 浦 佑樹 東京大学
8位 秋田 拓磨 朝日大学

グループ1（大学対抗）
1位 橋本 英也 鹿屋体育大学 43'28"
2位 荒井 佑太 法政大学
3位 小林 泰正 日本体育大学

グループ2A
1位 鈴木 天 朝日大学 18'07"
2位 花立 優希 日本大学
3位 白垣 良祐 法政大学

グループ2B
1位 原田 裕成 鹿屋体育大学 17'34"
2位 沼口 竜馬 日本大学
3位 大浦 恭史 日本大学

グループ3A
1位 柴崎 俊祐 鹿屋体育大学
2位 板倉 玄京 明治大学
3位 小西 瑛久 関西大学

グループ3B
1位 安本 昇平 鹿屋体育大学
2位 新城雄一朗 朝日大学
3位 橋本 直 鹿屋体育大学

女子
1位 上野みなみ 鹿屋体育大学 19'22"
2位 坂口 聖香 日本体育大学
3位 齋藤 望 日本体育大学

マスターズ・クリテリウム
1位 小畑 郁 18'17"
2位 ソールズベリー・ポール
3位 高橋 誠

小中学生タイムトライアル
マスターズ・タイムトライアル
結果は外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください
https://gaiencriterium.tokyo/

第十回大会成績 / RESULTS OF THE 10th EVENT　2016年3月13日（日）

2015年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦　第十回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位
1位 日本大学
2位 アムステルダム大学
3位 早稲田大学
4位 明治大学
5位 日本体育大学
6位 順天堂大学
7位 中央大学
8位 駒澤大学

シリーズ戦総合成績（門田杯）
1位 小林 和希 明治大学
2位 野本 空 明治大学
3位 孫崎 大樹 早稲田大学
4位 重田 兼吾 順天堂大学
5位 伊藤 大地 東北学院大学
6位 伊藤 和輝 早稲田大学
7位 伊東 泰輝 順天堂大学
8位 荒井 佑太 法政大学

マスターズ・クリテリウム
1位 小畑 郁 17'51"
2位 山崎 潤
3位 梅野 優哉

小中学生タイムトライアル
マスターズ・タイムトライアル
結果は外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください
https://gaiencriterium.tokyo/

グループ1（大学対抗）
1位 岡本 隼 日本大学 43'05"
2位 Sjors Handgraaf アムステルダム大学
3位 森口 寛己 日本大学

グループ2A
1位 岡部 祐太 日本体育大学 17'35"
2位 沼口 竜馬 日本大学
3位 佐々木 真也 日本大学

グループ2B
1位 青野 将大 法政大学 17'21"
2位 山下 祥平 日本体育大学
3位 緑川 裕也 日本大学

女子
1位 岡本 二菜 スミタ・エイダイ・パールイズミ・ラバネロ 19'43"
2位 齋藤 望 日本体育大学
3位 江藤 里佳子 鹿屋体育大学

グループ3A
1位 高原 渓人 朝日大学 13'48"
2位 小川 恵司 大阪産業大学
3位 冨嶋 奎太 同志社大学

グループ3B
1位 川上 俊太 東海大学 13'44"
2位 吉川 澄 朝日大学
3位 後藤 悠 早稲田大学

第11回大会成績 / RESULTS OF THE 11th EVENT　2017年3月12日（日）

2016年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦　第11回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位
1位 日本大学
2位 中央大学
3位 日本体育大学
4位 明治大学
5位 順天堂大学
6位 京都産業大学
7位 法政大学
8位 鹿屋体育大学

シリーズ戦総合成績（門田杯）
1位 野本 空 明治大学
2位 石原 悠希 順天堂大学
3位 岡本 隼 日本大学
4位 岡部 祐太 日本体育大学
4位 孫崎 大樹 早稲田大学
6位 小林 泰正 日本体育大学
7位 小林 和希 明治大学
8位 原 裕紀 順天堂大学

マスターズ・クリテリウム
1位 小畑 郁 17'38"
2位 山崎 潤
3位 高岡 亮寛

小中学生タイムトライアル
マスターズ・タイムトライアル
結果は外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください
https://gaiencriterium.tokyo/

グループ1（大学対抗）
1位 岡本 隼 日本大学 42'26"
2位 黒枝 咲哉 鹿屋体育大学
3位 原井 博斗 中央大学

グループ2A
1位 直井 駿太 中央大学 17'16"
2位 小林 和希 明治大学
3位 渡部 将太 法政大学

グループ2B
1位 阿部 将大 鹿屋体育大学 17'20"
2位 竹井 彗 日本大学
3位 中川 拳 早稲田大学

グループ3A
1位 早川 裕紀 日本大学 09'00"
2位 山口 和也 八戸学院大学
3位 山本 涼太 東海大学

グループ3B
1位 松本 梧 朝日大学 09'00"
2位 大喜多 将 慶應義塾大学
3位 尾坂 爽太 東海大学

グループ3C
1位 富 武大 明治大学 08'59"
2位 渡口 勝成 日本大学
3位 山本 修史 中京大学

女子
1位 中井 彩子 鹿屋体育大学 19'11"
2位 岡本 二菜 日本体育大学
3位 高田 奈生 鹿屋体育大学

パラサイクリング・ロードレース（タンデム）
1位 MOHD ALI, Muhammad Khairul Nizam
SUHAIMY, Muhamad Nur Syafiq
マレーシア 37'40"
2位 大城 竜之・高橋 仁 日本
3位 ROMZI, Muhammad Amin Najmi
MUHAMED SUFIAN, Mohamad Hafiz
マレーシア

第12回大会成績 / RESULTS OF THE 12th EVENT　2018年3月11日（日）

2017年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦　第12回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位
1位 アムステルダム大学
2位 中央大学
3位 明治大学
4位 早稲田大学
5位 日本体育大学
6位 法政大学
7位 駒澤大学
8位 東北学院大学

シリーズ戦総合成績（門田杯）
1位 岡部 祐太 日本体育大学
2位 野本 空 明治大学
3位 渡邉 慶太 明治大学
4位 篠田 幸希 日本体育大学
5位 佐藤 遼 法政大学
6位 鈴木 浩太 明星大学
7位 原 裕紀 順天堂大学
8位 勝又 高陽 法政大学

女子
1位 橋本 優弥 鹿屋体育大学 19'36"
2位 小泉 夢菜 早稲田大学
3位 中村 愛花 日本体育大学

マスターズ・クリテリウム
1位 小川 恵佑 17'27"
2位 高岡 亮寛
3位 小畑 郁

ハンドサイクル・ロードレース
1位 奥村 直彦 22'06"
2位 木村 潤平
3位 島田 一彦

小中学生タイムトライアル
マスターズ・タイムトライアル
ハンドサイクル・タイムトライアル
結果は外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください
https://gaiencriterium.tokyo/

グループ1（大学対抗）
1位 Derk Abel Becker アムステルダム大学
2位 渡邉 慶太 明治大学 42'55"
3位 David van Eerd アムステルダム大学

グループ2A
1位 堀込 統吾 法政大学 17'33"
2位 池西 拓海 明治大学
3位 勝又 高陽 法政大学

グループ2B
1位 石井 駿平 鹿屋体育大学 17'30"
2位 相葉 健太郎 法政大学
3位 尾形 尚彦 中央大学

グループ3A
1位 松浦 響 朝日大学 09'06"
2位 田部 功明 立教大学
3位 土橋 勇斗 大阪産業大学

グループ3B
1位 手嶋 豊 関西大学 09'00"
2位 鷲巣 怜 明星大学
3位 千葉 将太 東京大学

グループ3C
1位 小林 弘幸 信州大学 09'11"
2位 長松 大祐 鹿屋体育大学
3位 金子 征誉 立教大学

第13回大会成績 / RESULTS OF THE 13th EVENT　2019年3月10日（日）

2018年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦　第13回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位
1位 早稲田大学
2位 日本大学
3位 法政大学
4位 中央大学
5位 朝日大学
6位 明治大学
7位 日本体育大学
8位 東北学院大学

シリーズ戦総合成績（門田杯）
1位 孫崎 大樹 早稲田大学
2位 渡邉 慶太 明治大学
3位 小嶋 健太 日本大学
4位 栗原 悠 日本大学
5位 松村 恭輔 明治大学
6位 床井 亮太 作新学院大学
7位 野本 空 明治大学
8位 篠田 幸希 日本体育大学

グループ1（大学対抗）
1位 沢田 桂太郎 日本大学 42'28"
2位 孫崎 大樹 早稲田大学
3位 大前 翔 慶應義塾大学

グループ2A
1位 小嶋 健太 日本大学 17'08"
2位 成海 大聖 鹿屋体育大学
3位 花田 凱成 明治大学

グループ2B
1位 清水 貴梨 日本大学 17'22"
2位 佐々木 洸太 明星大学
3位 河藤 相真 鹿屋体育大学

グループ3A
1位 岡田 俊平 筑波大学 08'58"
2位 田仲 駿太 鹿屋体育大学
3位 藤原 遼祐 東海大学

グループ3B
1位 東矢 圭吾 中央大学 08'48"
2位 岸田 剛 鹿屋体育大学
3位 依田 淳之介 東京大学

グループ3C
1位 坂野 匠 東京大学 08'53"
2位 山本 耀介 北海道大学
3位 三浦 隆也 東海大学

マスターズ・クリテリウム
1位 小川 恵佑 17'22"
2位 小畑 郁
3位 高岡 亮寛

女子
1位 中村 愛花 日本体育大学 19'27"
2位 岡本 二菜 スミタ・エイダイ・パールイズミ・ラバネロ
3位 EmmaChiltern メルボルン大学

小中学生タイムトライアル マスターズ・タイムトライアル
結果は外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください
https://gaiencriterium.tokyo/

第14回大会成績 / RESULTS OF THE 14th EVENT　2020年2月23日（日）

2019年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦　第14回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位
1位 日本体育大学
2位 明治大学
3位 明星大学
4位 日本大学
5位 朝日大学
6位 中央大学
7位 作新学院大学
8位 大阪産業大学

シリーズ戦総合成績（門田杯）
1位 鈴木 浩太 明星大学
2位 風間 翔眞 東北学院大学
3位 植益 和行 大阪産業大学
4位 床井 亮太 作新学院大学
5位 篠田 幸希 日本体育大学
6位 安彦 統賀 日本体育大学
7位 渡邉 慶太 明治大学
8位 村上 翔馬 大阪産業大学

グループ1（大学対抗）
1位 篠田 幸希 日本体育大学 45'51"
2位 鈴木 浩太 明星大学
3位 佐藤 健 日本大学

グループ2A
1位 中村 圭佑 鹿屋体育大学 18'34"
2位 花田 聖誠 Team Eurasia-iRCTIRE
3位 關根 論容 日本体育大学

グループ2B
1位 大町 健斗 Team Eurasia-iRCTIRE 18'02"
2位 平安山 良希 日本体育大学
3位 石原 悠希 順天堂大学

グループ3A
1位 塩島 嵩一朗 明治大学 09'30"
2位 堀 良寛 一橋大学
3位 川尻 泰生 明星大学

グループ3B
1位 松本 輝 作新学院大学 09'33"
2位 宮本 秋哉 駒澤大学
3位 上野 矢竜 明治大学

グループ3C
1位 新垣 慶晃 鹿屋体育大学 09'32"
2位 尾形 昂隼 朝日大学
3位 森崎 健臣 作新学院大学

女子 20'55"
1位 中村 愛花 日本体育大学
2位 成海 綾香 鹿屋体育大学
3位 太郎田 水桜 法政大学

マスターズ・クリテリウム
1位 半澤 雄高 18'26"
2位 菊川 実紀
3位 松尾 修作

小中学生タイムトライアル
マスターズ・タイムトライアル
結果は外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください
https://gaiencriterium.tokyo/

第15回大会成績 / RESULTS OF THE 15th EVENT　2021年3月7日（日）

2020年度 第22回全日本学生選手権クリテリウム大会 兼 第15回 明治神宮外苑大学クリテリウム

シリーズ戦総合成績（門田杯）
新型コロナの影響により2020年度のシリーズ戦は本大会を含め4回しか開催できず、参加選手も大きく制限されたため、今期については門田杯の対象者は無しとした。

男子大学生クリテリウム 決勝
1位 川野 碧己 慶應義塾大学 45'44"
2位 山本 哲央 中央大学
3位 仮屋 和駿 日本大学
4位 宇佐美 颯基 明治大学
5位 西原 裕太郎 鹿屋体育大学
6位 中村 龍吉 中央大学
7位 床井 亮太 作新学院大学
8位 平安山 良希 日本体育大学

女子
1位 岩元 杏奈 日本体育大学 27'40"
2位 成海 綾香 鹿屋体育大学
3位 石上 夢乃 鹿屋体育大学

小中学生タイムトライアル
結果は外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください
https://gaiencriterium.tokyo/

第16回大会成績 / RESULTS OF THE 16th EVENT　2022年2月27日（日）

2021年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦　第16回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位
1位 慶應義塾大学
2位 日本大学
3位 順天堂大学
4位 中央大学
5位 早稲田大学
6位 法政大学
7位 明星大学
8位 日本体育大学

シリーズ戦総合成績（門田杯）
1位 中島 渉 立教大学
2位 仮屋 和駿 日本大学
3位 加藤 遼 東京工業大学
4位 北宅 柊麻 日本大学
5位 篠崎 蒼平 東京大学
6位 川野 碧己 慶應義塾大学
7位 美甘 星次郎 早稲田大学
7位 園田 大智 順天堂大学

グループ1（大学対抗）
1位 中村 龍吉 中央大学 48'44"
2位 川野 碧己 慶應義塾大学
3位 兒島 直樹 日本大学

グループ2A
1位 小池 陽斗 明治大学 19'43"
2位 新垣 慶晃 鹿屋体育大学
3位 黒川 祐次郎 法政大学

グループ2B
1位 加藤 遼 東京工業大学 19'33"
2位 佐藤 岳 慶應義塾大学
3位 吉川 敬介 日本大学

グループ3A
1位 高澤 惇弥 成蹊大学 09'44"
2位 志田 拓也 東海大学
3位 岩田 祥眞 大阪工業大学

グループ3B
1位 吉田 英生 東京工業大学 09'45"
2位 山本 和瑛 日本体育大学
3位 永井 笙太 関西大学

グループ3C
1位 齋藤 祥樹 東海大学 09'46"
2位 内田 崇志 東京工業大学
3位 稲田 雄星 愛知大学

女子
1位 川口 うらら 日本体育大学 21'36"
2位 岩元 杏奈 日本体育大学
3位 中島 瞳 川越工業高校

マスターズ・クリテリウム
1位 森栄 晃彦 19'14"
2位 石橋 利晃
3位 半澤 雄高

小中学生タイムトライアル
小1 鎌田 晃士 3分42秒29
小1 高丸 凰雅 3分39秒13
小2 宮崎 結葉 3分09秒13
小3 關根 颯斗 3分53秒54
小4 大村 蓮仁 2分48秒86
小5 山口 虎太郎 2分23秒54
小6 芝山 瑠透 2分21秒62
小6 小路 裕紀 2分13秒67
中1 官野 哲太 2分37秒29
中2 鈴木 千史 2分23秒93
中2 毛利 瑞紀 4分20秒96
中2 筒井 楓 2分08秒82
中3 筒井 和 1分55秒06
中3 坂上 幸太郎 5分57秒97
中3 内山 雷蔵 3分16秒39

マスターズ・タイムトライアル
未岡 正充 1分41秒86
森 榮 晃彦 1分45秒69
Lange Julien 1分51秒03
安田 忠勲 1分51秒88
山本 康雄 1分52秒78
影森 信一郎 1分53秒12
寺本 達哉 1分58秒44

ハンドサイクル・タイムトライアル
官野 一彦 3分11秒75

2022年度（令和4年度） 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ

「全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ」とは　ROAD RACE CUP SERIES ＝ RCS

年間約10～15戦で全国を転戦し、総合成績を競います。実力別カテゴリに分かれて行われるクリテリウムを主体としており、その成績は海外遠征代表の資格獲得や、インカレ等への出場資格獲得に結びついています。

大会名等		開催日	会場
第1戦	第14回 菜の花飯山ラウンドクリテリウム（1日目）	4月30日	長野県飯山市 長峰スポーツ公園 針湖池外周
	第14回 菜の花飯山ラウンドクリテリウム（2日目）	5月1日	
第2戦	京都美山サイクルロードレース 個人ロードTT	5月28日	京都府南丹市美山町
第3戦	京都美山サイクルロードレース	5月29日	
オープン戦	草津ナイトレース（クラス3のみ）	6月18日	滋賀県草津市烏丸半島周回コース
第4戦	第23回 JICFオープンロードレース	7月24日	群馬県みなかみ町 群馬CSC 6kmコース
第5戦	第16回 白馬クリテリウムラウンド（1日目）	7月30日	長野県北安曇野郡白馬村飯森
	第16回 白馬クリテリウムラウンド（2日目）	7月31日	
第6～15戦	インカレ男子ロードレースでの重大事故をうけてレースを中止、安全意識・技量向上にむけた座学講習会・実地研修会を実施		
第16戦	埼玉県川島町小見野クリテリウムラウンド	2月12日	埼玉県川島町小見野地区
最終戦	第17回明治神宮外苑大学クリテリウム	2月26日	東京都・明治神宮外苑

RCSポイント上位者成績一覧 （第1戦～第16戦まで / 第6～15戦は開催中止のため成績なし）

ランク	氏名	大学名	1-1戦	1-2戦	第2戦	第3戦	第4戦	5-1戦	5-2戦	第16戦	講習参加ポイント	ポイント小計	本大会最終戦	ポイント総合計
1	篠崎 蒼平	東京大学	A02 24	A08 10	A02 24	A04 18	A05 16		A03 20	A04 18	4	134		
2	中島 渉	立教大学	A07 12	A01 30			A06 14	A01 30	A01 30		3	119		
3	北宅 柊麻	日本大学	A08 10	A02 24	A08 10	A05 16		A08 10	A06 14	A10 6	3	93		
4	初川 弘浩	中京大学	B02 16	B03 13	A19 2	A10 6	A15 2	A03 20	A12 2	A05 16	3	80		
5	宮本 秋哉	駒澤大学	B11 2	B01 20		A22 2		A05 16	A02 24	A09 8	3	75		
6	加藤 遼	東京工業大学	A01 30	A07 12	A06 14	A06 14						70		
7	山本 大智	朝日大学	A04 18	A03 20	A01 30						1	69		
8	平井 杏周	関西大学	A06 14	A10 6		A03 20	A12 2	A06 14	A08 10		1	67		

成績表のA○○はクラス1のみまたはクラス1+2の試合での順位、B○○はクラス2のみの試合での順位、C○○はクラス3のみの試合での順位を表します。順位の下の数字は獲得ポイント数です。

RCSポイント配点表

本大会のグループ1にはクラス1の配点が、グループ2にはクラス2の配点が適用されます。
但し、最終戦明治神宮外苑クリテリウムは通常の2倍の配点となりますので、例えばグループ1の1位には60点が与えられます。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	完走
クラス1	30	24	20	18	16	14	12	10	8	6	2
クラス2	20	16	13	12	11	9	8	7	5	4	2
クラス3	2	以下昇格者 1				0	0	0	0	0	0

JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION
日本学生自転車競技連盟 JICF
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
ジャパンスポーツオリンピックスクエア408
TEL 090-2207-2369　FAX 03-6804-2329
E-mail:jicf@remus.dti.ne.jp　URL:https://jicf.info/

発行人：日本学生自転車競技連盟 理事長 古賀 岳文　編集・印刷：有限会社荒井松文堂印刷所

※広告の掲載順は大学名のアイウエオ順です。

祝　第17回明治神宮外苑大学クリテリウム

大会の成功と選手の皆様の活躍をお祈りいたします。

日本大学三軒茶屋キャンパス

皆様のご理解とご協力をいただき，2016 年４月の開設から７年目を迎え，本年度から大学院も開設します。

【危機管理学部】

君が世界を強くする

社会を襲う自然災害や大規模事故、犯罪、テロリズム、戦争・紛争、個人や組織の情報流出など、私たちの生活はさまざまな危機に取り囲まれています。多様な危機から人々の生命や生活を守るため、法学的アプローチを中心に災害マネジメント、パブリックセキュリティ、グローバルセキュリティ、情報セキュリティの視点から、新しい学問である「危機管理学」を学びます。

【スポーツ科学部】

君が世界をアツくする

スポーツ科学部ではコーチング学を中核領域として捉え、自然科学的な領域だけでなく医科学や社会科学など幅広い領域を含め「競技スポーツ」に関する理論と実践を総合的に学習します。また、国際大会で活躍した元アスリートや指導者、専門的な研究機関に在籍した経験を有する研究者等、スポーツに関する様々な経験を持つ教員が学習をサポートします。

NICHINAO 私たちは学生のレースを応援しています

https://nichinao.jp

デモ機の展示や貸出を行います

第17回明治神宮外苑大学クリテリウム大会出場校の皆さまへ

本大会の第1回目より大会を応援している弊社は、レース機材の販売でも学生の皆さんを応援しております。パワーメーターのASSIOMA、ヘルメットのKASK、愛三工業レーシングチームが採用したサイクルコンピュータのiGPSPORT、カーボンリムのホイールSCOPE CYCLINGをはじめ、プロフェッショナルライダーも愛用するアイテムの数々を、日本学生自転車競技連盟加盟校の自転車競技部に特別価格で販売しています。選手個人への対応はできませんので、問い合わせや見積もり、注文は各校の自転車競技部でとりまとめてお問合せください。また、本部受付にて配布した資料のなかに特別価格販売の注文書を同封したので、併せてご確認ください。不明な点は弊社ブースのスタッフにお訊ねください。
会場内でデモ機の展示や貸出も行います。本部テントの並び、弊社のブースにお立ち寄りください。

IRC TIRE
Inoue Rubber Co.,Ltd.

チューブレスに迫る、強さとグリップ力を備えた新生クリンチャータイヤ。

初代アスピーテ誕生から8年、新アスピーテが満を持して登場。
アスピーテの基軸である
「軽く、強く、トラブル無縁」を継承したモデル[RBCC]、
「軽く、速く、レース性能」を追求したモデル[S-LIGHT]。
チューブレスのパイオニアがリリースした、新生クリンチャータイヤ。

ASPITE PRO will be your answer.

SUPER GRIP! SUPER TOUGH!

ASPITE PRO RBCC

アスピーテ プロ アールビーシーシー

参考価格 ¥7,480(税込)

SIZE ●WO 700 × 25C / WO 700 × 28C / WO 700 × 30C

ROAD 700C / X-GUARD / 180 TPI / DISC BRAKE APPROVED / NEW ETRTO STANDARD / HOOK LESS / RBCC² II

SUPER GRIP! SUPER LIGHT!

ASPITE PRO S-LIGHT

アスピーテ プロ スーパーライト

参考価格 ¥7,480(税込)

SIZE ●WO 700 × 25C / WO 700 × 28C / WO 700 × 30C

ROAD 700C / SUPER LIGHT / 180 TPI / DISC BRAKE APPROVED / NEW ETRTO STANDARD / HOOK LESS / RBCC² II

コーナーでタイヤを倒すほどグリップ力が向上する新断面構造とヘリンボーンパターンを採用

タイヤ全面に40×40TPIメッシュガードを採用(RBCCのみ)
※サイドカットへの抵抗値40%アップ

新断面構造とスリックパターンで、なめらかな巡行走行を実現

クリンチャータイヤ初!
フックレスリム対応

新エトルト規格に準拠

		標準リム幅
タイヤ幅	25C	19mm
	28C	19mm
	30C	21mm

アイ・アール・シー 井上ゴム工業株式会社 https://irctire.jp

ASPITE PRO スペシャルサイト